

韓国・ペジエ大学校と大学間交流に関する協定を締結！

目次：

| | |
|------------|---|
| 学長言 | 2 |
| 宗教委員会 | 3 |
| ボランティアセンター | 3 |
| 学科報告 | 4 |
| 研究室探訪 | 6 |
| 学務課 | 7 |
| キャリア支援課 | 8 |



協定締結の様子。学長代行として出席した現代コミュニケーション学科の安哉宣准教授(写真右)とペジエ大学校のKyung-Hun Song国際交流センター学部長(写真左)

この度の協定締結により、培材大学校で実施される「国際サマースクール」に短期大学部の現代コミュニケーション学科の学生2名が参加いたしました。研修内容には韓国語の授業を始め、韓国学、韓国文化体験(伝統工芸、テコンドー、運動会、野球観覧)やフィールドトリップがプログラムに盛り込まれていて、テーマパークやウォーターパーク、K-pop・エンタメ体験、KBS放送局の見学なども行われました。

静岡英和学院大学及び静岡英和学院大学短期大学部は、韓国・培材(ペジエ)大学校と文化・教育・科学技術などの学術交流活動を行なうことに合意し、2016年8月10日(水)に培材大学校にて大学間交流に関する協定を締結いたしました。

培材大学校は、ソウルとプサンの中に位置するテジョン市にあり、男女共学の4年制大学で大学院と49学科(学部)を有するキリスト教系の大学です。韓国初の西洋式近代教育機関として初代大統領を始め多くの人材を排出した130年の伝統と歴史を持っています。

参加した学生は、8月6日から8月19日までの14日間、校内の寮に滞在しながら世界各国からの留学生や培材大学校のPILOT韓国語学生(Pai chai International Language vOlunteer Team)と生活を共にしながら親睦を図り、異文化交流も深めることができました。今回のサマースクールには、アメリカ、ドイツ、イタリア、ロシア、アルジェリア、タイ、台湾、マカオ、インドネシア、マレーシアからの学生が参加し、世界中の様々な国の学生たちと触れ合いながら韓国文化や異文化への理解力と、コミュニケーション能力が向上できる有意義な機会になりました。

(現コミ安)

ハイライト：

- ・ 今年のクリスマス行事 (p. 3)
- ・ 世界中の子どもたちにプレゼントを贈る！(p. 3)
- ・ 新学務システム始動！(p. 7)
- ・ 2017年度学納金の納入期日について(p. 7)
- ・ エアライン業界への就職サポート(p. 8)



宗教改革500年の年に

～学長 柴田敏～

今年、2017年は、宗教改革から500年の記念の年です。マルティン・ルターが、ヴィッテンベルク城教会の扉に、「95か条の論題」を張り出したのが、1517年10月31日だとされています。

この「95か条の論題」というのは、当時ローマ・カトリック教会において行われていた「贖宥状」という制度について、ルターが「これは主イエスの教えに反している」と、異議を唱えたものです。「贖宥状」とは、その人の罪を赦すという証明書で、これをローマ・カトリック教会は有料で発行していました。罪を犯した人も、これさえ買っておけば死後は煉獄で苦しなくてすむというもので、まさに「地獄の沙汰も金次第」であります。当時はカトリックの修道士であり、ヴィッテンベルク大学の教授でもあったルターが、これを神学的に告発したのです。

ローマ・カトリック教会はルターを破門しましたが、同じようにローマ・カトリック教会に批判的な人たちが次々と声を上げ、独自の教派を形成するようになり、それらをまとめて「プロテスタント（異議を唱える人）」という名称で呼んでいます。そして、こういった一連の動きを、「宗教改革」と呼んでいるのです。念のために述べておくと、学校法人静岡英和学院、そして静岡英和学院大学と静岡英和学院大学短期大学部も、宗教的にはプロテスタントのグループに属しています。

さて宗教改革の続く中、1549年に、ローマ・カトリック教会に属するイエズス会の宣教師であるザビエルが、鹿児島にやってきました。その頃の日本は戦国時代です。「下剋上」の世の中で、生まれた身分は低くても実力と運があれば出世できる時代、旧来の秩序が壊されていく時代でした。

宗教改革は、ローマ・カトリック教会のいっしょくた体制が大きく揺らいだ社会変革でもあり、そういう点で、ヨーロッパと日本は、当時共にダイナミックな変革を経験していたのです。

そこで現代に目を転じると、どうでしょうか。

テロの続発、難民問題の深刻化、貧富の格差拡大、食糧不足、地球温暖化など、世界には問題が山積しています。従来のシステムでは解決がつかなくなっているように思えます。また、従来のシステムに不満を持つ人が増えていきます。社会はダイナミックに変わろうとしているの

かもしれません。しかしそれがどこへ向かうのか、見通しにくくなっています。

しかし確かなこともあります。まず一つ目は、アジアの時代がやってくることです。世界第2位の経済大国・中国をはじめ、日本、韓国、台湾、シンガポール、インドがいて、さらにフィリピン、ベトナム、タイ、インドネシアなどの国々が、経済的に急成長しています。グローバル化する世界の中で、アジア地域の動向が、大きな影響を与えるようになっています。

もう一つは、教育の重要性が増すことです。特に大学との関係でいえば、グローバル化した知識基盤社会で必要とされるのは、高等教育によってコミュニケーションの力、考える力、協力する力を身に付けた人間です。知識の集積よりも、人間力が求められます。人間力にあふれた人が国境を越えて話し合い、理解し合い、協力し合っていくことで、新しい社会が切り開かれていきます。そして、世界的に見れば高等教育機関は不足しているのです。

静岡英和学院大学・静岡英和学院大学短期大学部が果たすべき役割の一つが、ここに見えてきます。アジアと静岡を結ぶ高等教育機関になることです。

本学は、すでに県下一留學生比率の高い高等教育機関です。それも、アジア地域の国々からの留學生です。それは、将来国境を越えて協力し合う友人が、すでに共に学んでいるということです。このような教育環境の中から、新しい社会を支える人たちが育っていくのだと思います。

本学は、そのような重要な役割を果たせるように、自らを整えていかなければなりません。そのような目標を目指して、常に私たちと共におられ、私たちの働きを支えてくださる主を見上げながら、進んでいきたいと願っています。

恐れることはない、わたしはあなたと共にいる神。たじろぐな、わたしはあなたの神。

勢いを与えてあなたを助けわたしの救いの右の手であなたを支える。

イザヤ書 41 章 10 節



柴田敏 学長
(2016年4月1日就任)

アジアの時代
に向け

アジアと静岡を
結ぶ高等教育
機関として



宗教委員会

静岡英和学院大学のキリスト教と2016年！

今年度もあっという間に過ぎ去ろうとしています
が、2016年度の英和の宗教テーマ「完全な者になりなさい！」はどんな風に示されたのかと振り返ってみましょう。

前期のキリスト教に触れ合う機会は、まず、一年生のリトリート、そして毎週の礼拝（イースター礼拝を含む）、キリスト教必修の授業、そして7月のワンコイン楓コンサート（今年は熊本地震にあったキリスト教学校へ献金）でした。今年の新しい試みは授業が始まる前にその週の讃美歌を歌ってもらったことです。前期のキリスト教は後期へのウォーミングアップのようなもので、キリスト教の行事は後期に集中しています。

後期が始まってすぐに、最大の行事であるクリスマスの準備を始めました。第8回目となるクリスマスカードコンテストには約100枚の応募があり、最優秀賞者は人間社会学科1年の青木紀憲さんでした。10月にはクリスマスお手伝い隊を募り、彼らを中心に11月27日のアドベント（待降節）前後にクリスマスツリーの設置やイルミネーションの点灯、校内のクリスマスの飾り付け等がなされました。クリスマス準備中に英和にとって大事な創立129年を祝って11月16日に創立記念礼拝が行われ、今回は三宝会の方を招き、威勢の良い和太鼓の演奏をしていただきました。

12月の最初の一週間は楓クリスマスコンサートが新館1階にて行われ、演奏する者も、集まってくれた学生や職員たちも楽しい昼休みの一時を過ごすことが出来ました。年に2回の楓コンサートを3人の学生がスタッフとしてよく働いてくれました。



12月21日には、照明をおとした新館5階講堂内において山田先生のゼミ生と聖歌隊による賛美の声と共にクリスマス礼拝が始まりました。4名の点火係はベトナムの留学生でしたが前日に練習した甲斐があり、点火も厳かに行われ、学生4名による聖書朗読の後、牧師である伊勢田奈緒によって「イエスが光だから」と題し、「今はある意味で、世界中がすっぽり闇の中に包まれようとしている時代なのかもしれません。しかし、だからこそ、今、一人一人が闇に身を隠すのではなく、光の歩みを生きることが求められている時代ではないでしょうか。」とする内容の話をさせていただきました。礼拝後、第五代目ISEDA劇団による「ME AND MY GIRL」（伊勢田奈緒脚本・演出）が上演されました。今回は出演者がなかなか揃わず、ハラハラした公演でしたが、監督をした私の思いとは裏腹に一番、笑いをとった楽しいものになり劇団員の学生たちの懸命さに感動させられました。

同日、午後6時からはW303にて学生たちの手伝いの元、キャンドルサービスとクリスマス会がありました。学生・教職員と共に、キャンドルの灯りの神聖な雰囲気の中礼拝が行われました。その後、ケーキ等を食べつつ、3月に卒業をする学生たちに英和の思い出を語ってもらい、本当に和やかで幸せな時を過ごすことができました。

キリスト教の神は私たちの失敗や間違いを赦さないような方ではなく、むしろ私たちがどんなに神に背中を向けたり、神を困らせたりしても、私たちを赦し、どんなことがあっても私たちを愛することをあきらめず、最後まで貫く愛の神であり、その方が共に歩いてくださっておられるのです。ですから私たちもつまずいたり失敗したりしながら、あきらめずに「完全な者」となるように神と共に歩むことができた一年だったと改めて思います。

（文責：伊勢田奈緒）



新館に飾られたツリー

完全な者になりなさい

ISEDA 劇団
好演

ボランティアセンターだより

『クリスマスプレゼントを贈ろう！』のプレゼントを発送しました。

静岡英和学院大学ボランティアセンターでは、ボランティアセンター学生スタッフ国際協力チームによる昨年度からの試みである「クリスマスプレゼントを贈ろう！」という活動を今年も行いました。



サマリタンズ・パースとうキリスト教団体がオペレーションクリスマスチャイルドと言う世界中で戦争や飢餓、貧困に直面する100カ国以上の子どもたちに、靴箱いっぱいに詰められたクリスマスプレゼントを贈る活動

です。

多くの学生及び教職員からオモチャの寄付を頂き、11月15日に靴箱へ箱詰め作業し、完了しました。

おかげで今年度は昨年度を上回る靴箱8箱にオモチャ他を一杯に詰める事が出来、主催団体のサマリタンズ・パースへ発送をする事が出来ました。そして、7月～12月1日までの募金活動 + 楓祭での収益で集まった額、12,537円（鉛筆削り代956円 + 手数料80円を除く、靴箱送付代700円 × 8箱、5,600円 + 寄付金5,901円）をサマリタンズ・パースに送金を致しました。

多くのご協力を下さった皆様、本当に有難う御座いました。また、箱詰め作業等をして下さった国際協力チームの学生さん、お疲れ様でした。

（ボランティアセンター 橋本）



寄付されたオモチャ

人間社会学科

今をつかむ

—地域とともに—

日本社会は、極度の少子高齢化に伴う先行き不安、地方の過疎化、長期にわたる経済の低迷、それに加えて相次ぐ自然災害に見舞われ、いまだ長いトンネルの中から抜け出せずにいます。世界情勢に目を向けると、ヒト、モノ、カネ、情報が国境を希薄化して行き交うグローバルな流れは不可逆的に強まる一方、既存の秩序に対するテロ攻撃、内戦、大量の難民の発生、成長しない資本主義のジレンマ、そして保護主義的ポピュリズムに後押しされた政治勢力の台頭に見られる反グローバル化の逆流現象、加えて、地球規模での環境異変、異常気象による自然災害といった、あたかもこれ以上「近代」の延長線にあることを許さないとも言っているかのような大きな混迷の中に私たちはいます。もはや、これまで培ってきた合理主義の対応マニュアルの多くが賞味期限切れのものとなりつつあると言えるでしょう。

こういった中で、静岡の地域社会の発展と真の豊かさの確保のためには、「今の、日本と世界の中での静岡」を的確に自覚し、時代の節目を見失わないことがとても重要なことだと思います。人間社会学科では、変化する時代の要請に応えるために学科教育の改革を継続的に推し進め、地域を支える人材の育成、地域社会の発展、そして何よりも個々の学生個人の未来へ向けた人生設計に貢献できる学科であることに努めております。人が元気になるれば、地域も元気になる。そして、わが学科も活性化する。私たち教員は、この思いで日々の学科教育に取り組んでおります。これからも静岡の地域社会とともに歩む学科でありたいと願っております。

私事ですが、私はこの3月で定年退職します。この場をお借りして、お世話になった方々へ謝意をお伝えしたいと思います。

(人間社会 飯山)



心理メジャーの卒業研究発表会の様子

コミュニティ福祉学科

コミュニティ福祉学科は、2002年の学科開設以来、福祉と子ども領域の専門職養成に励んでまいりました！

まず、福祉領域では、難関である社会福祉士の国家試験の合格者をコンスタントに輩出できるようになりました。また、卒業生たちは、県内の多くの福祉施設で活躍してくれており、たいへん心強く思っております。

次に、子ども領域では、腕のいい保育士・幼稚園教諭の育成はもちろんのこと、福祉の学科で行う保育士養成・幼稚園教諭養成という強みを生かし、「あちよぼ」という地域の子育て事業にも取り組んでまいりました。昨年 11月には、その成果が認められ、

「第4回ふじさんっこ応援フェスタ」にて中部地域賞を受賞し、川勝平太静岡県知事から表彰され学生も教員もうれしく思っております。



あちよぼの風景

こうした地域貢献活動は福祉領域でも取組んでおり、「はびねす EIWA カレッジ」という知的障がい者の方々のための学習支援活動を通して、参加者のみな様と本学科学生とでスポーツ、英会話、音楽、パソコンなどの学習活動を楽しんでおります。

これらの活動のほか、本学科では、従来からの高校の教科「福祉」の教員養成を継続し、昨年 4月からは、これから学校現場で活躍が期待される「スクールソーシャルワーカー」の養成課程をスタートさせました。また、さらに、この 2017 年 4月からは「初級障がい者スポーツ指導員」資格も取得できるようになり、益々盛んになる障がい者スポーツの領域でも活躍できる人材を輩出したいと考えております。

(コミ福 橋本)



あちよぼメンバーは、川勝静岡県知事より表彰されました

「あちよぼ」が

中部地域賞を受賞！

スクールソーシャルワーカー養成課程がスタート



はびねすEIWAカレッジ

現代コミュニケーション学科

資格に挑戦！

「リビングスタイリスト」と「消費者力検定」

ライフデザインユニット科目である「リビングスタイリスト」受講の33名の学生が「リビングスタイリスト資格試験」に挑戦し、2級4名、3級18名の学生が合格しました。また、基幹科目(生活)の「消費生活論」受講の20名の学生が、「消費者力検定」を受験し、2級3名、3級7名、4級7名、5級3名が各級の認定を受けています。

「リビングスタイリスト資格試験」では、好成績を挙げた2年生の藤原未帆さん、竹内志保さんが学生奨励賞、静岡英和学院大学短期大学部としても学校団体特別賞を2年連続で頂くことができました。これは受験した学生全員の努力の成果といえるでしょう。

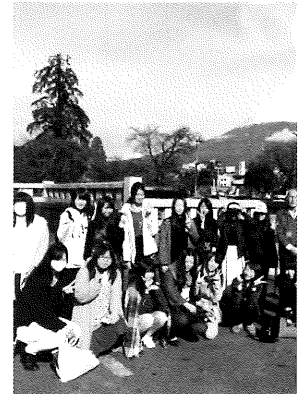
「リビングスタイリスト」の授業では、住生活用品の

販売業務に伴う事務処理、商品管理やアフターサービスの基本のほか、お客様の話をきちんと伺って、的確な商品の提案やアドバイスを提供する接客スキルも身につけていきます。一般的な流通業界でも役に立つコミュニケーション能力やビジネスマナーも学習していますので、ライフデザインユニット以外にファッション&ビューティーユニットの学生も多く学んでいます。

一方、「消費生活論」の授業では、契約・悪質商法、衣食住などの消費生活に関する正しい知識を身につけて、生活行動に責任をもった主体的な生活者となることを目的としていますので、ユニットを問わず関心のある学生が学んでいます。

慣れない法律用語に戸惑いつつ、覚えなくてはならないことも山盛りですが、音を上げずに地道に頑張る学生の姿に頼もしさを感じる毎日です。

(現コミ 栗山)



現代コミュニケーション学科では授業(科目名「富士山学」)の一環として富士宮浅間大社を見学しました。

食物学科

キッズ食育フェアに参加しました

真夏の日曜日8月7日に食物学科の学生達で編成された「チームM.M.P」は、静岡市の静岡ガスエネリアショールームで行われた「キッズ食育フェア」に参加させて頂きました。お客様がお好みの味噌とだし粉、具を混ぜ込み丸めた「みそ玉」を作り、湯を注いだみそ汁を味わい戴く中で、和食の良さや味噌の奥深さをお伝えすることを目指し、「チームM.M.P」は、1年生20名、2年生3名が3つのチームに分かれ、6月下旬から毎週水曜日の礼拝後少しづつ準備を進めながら活動してきました。

当日は想定以上の200余名のお客様に参加戴き、午前5名、午後4名のスタッフで臨みました。大盛況



の中、学生はどのお客様に対しても真摯に、丁寧に接し、小さなお子様には、視線を同じ高さにするため膝を曲げ、優しい口調で語りかけていました。お客様に接する度、成長していく姿には、学外活動は「こんなにも学生を生き生きと成長させるのか」と改めて実感させて頂きました。

今回は、同窓会副会長の榎戸さんにご縁を頂き、出展の運びとなりました。当日の出店者や主催者の中には英和の卒業生の方もおられ、「私も英和の卒業生よ。」というお声掛けの度に、学生は声を上げ喜ぶ場面を目にしました。学び舎を同じとすると絆が生まれることも実感出来た一日となりました。

(食物 清水)

キッズ

食育フェア

おいしい

「みそ玉」

学生が

生き生き成長



想定以上の参加者で賑わう当日の様子

研究室探訪



古郡 康人

(ふるこおり やすひと)

職名：

教授・人間社会学科長

所属学科：

人間社会学科

所属メジャー：

日本語文化メジャー

専攻分野：日本近代文学

研究テーマ：森鷗外文学における発生と成立

私の研究対象は「日本の近代文学」、とりわけ「森鷗外」の文学です。ここに掲げた研究テーマについてお話ししましょう。

「発生」とは、ある歴史的時点における事象の始まりというより、事象を明確に認識できる「成立」に至る過程に働きかける形成要因、というのが私の理解です。生田川伝説とその作品化を例にとります。

二人の男に思いを寄せられた一人の女が、どちらも選ぶことができずに生田川に入水したという生田川伝説は、古代では歌集「万葉集」に、中古（平安時代）では歌物語「大和物語」に、中世では謡曲「求塚」に、そして近代にあつては夏目漱石の小説「草枕」・森鷗外の戯曲「生田川」に作品化されました。「発生と成立」という視座に立つと、各時代に作品の成立をもたらしてきた生田川伝説をその形成要因として重視しよう、というアプローチとなります。そうして、生田川伝説の系譜を考えると、各作品それぞれが成立した時代特有の精神を体現していることが見えてきます。近代の漱石や鷗外にあつては、古典において悲劇に終わる女性を救済しようとしているかに見えますし、そこに近代の時代精神があると思えるのです。

また、例えば「閼■」という語。これは、鷗外の小説「灰燼」に出ていて、通常は「閼閼」と表記して「功績のある家柄」の意味ですが、門構えに「兌」の字を入れ

る「閼」ではなく、■は門構えに「越」の字が入っています。この「門+越」の漢字は漢和辞典類にも見当たらず、中国の「説文解字」にも出ていません。これを鷗外の誤記、もしくは記憶違いとするのは簡単ですが、江戸時代の伊藤東涯「操觚字訣」が「経、歴、更、閼、麗」の同訓異義を説明して、「閼八、音越、歴也、経歴也ト註ス、然レドモ、歴トハ同カラズ、物ヲコエフル意ナリ、越ノ音通ズルユヘナルベシ、『閼月』ト云ハ、即踰月ノコト也、コレニテシルベシ、『閼歳』『閼世』モコレニ準ズ」と説明したような知見が、「門+越」の字を鷗外に書かせたのかとも思います。「門+越」の漢字の成立をめぐる発生的考察です。

地域貢献について

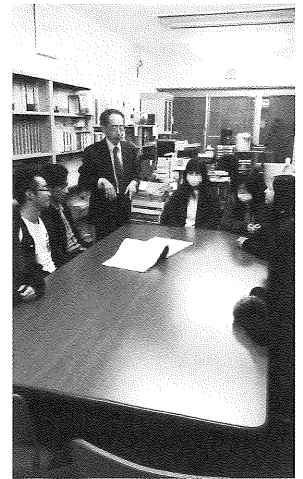
本学の公開講座は、静岡市との連携を強化していますが、私も2016年度には、静岡市葵生涯学習センターで「静岡と近代文学」と題して、中助助「銀の匙」・森鷗外「佐橋甚五郎」を講義しました。また、富士市の富士中央文学講座や静岡市の婦人文学講座の講師も務めています。

ゼミ学生から

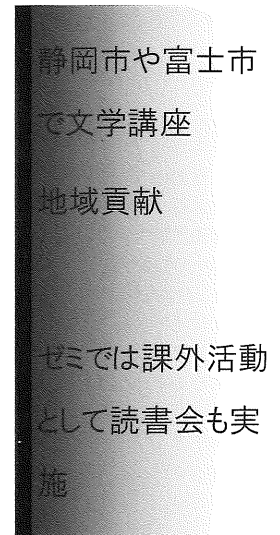
古郡ゼミでは、近代文学作品の読解の成果を発表者が述べ、その内容に対して他のメンバーが質問などを、学生主体のグループディスカッション形式で授業が展開されています。様々な意見や考察が、作品の理解度を高める結果に繋がることは勿論、私自身ゼミ内で他の方の意見を聞き「そういう、読み取り方もあるのか」と感心する場面が多くあります。

また課外活動として、ふだん文学作品を読まない人でも気兼ねなく参加でき、文学作品を読み解いていこうという「読書会」も行われています。

(人間社会学科1年 青木紀憲)



古郡研究室の様子



連携課

続々と連携協定！ 社会貢献活動が加速中！

静岡市とは協定締結後、2件の課題解決事業が進行しており、その他にも連携に伴う様々な依頼が来ています。ペジエ大学には2名の学生がサマースクールへ参加しました(1面記事)。2月の

ANAエアラインスクールへの参加募集説明会(8面記事)が開催されるなど、連携に伴う今後の様々な活動が期待されています。

(連携課 山縣)

| 協定相手先 | 協定の種類 | 締結日 |
|---------------------------------|---------|----------|
| 静岡市 | 包括連携協定 | 6月14日(火) |
| 培材大学校(韓国・ペジエ大学) | 大学間交流協定 | 8月10日(水) |
| (株)アイワークシステム | 包括連携協定 | 8月28日(日) |
| ANAビジネスソリューション(株)(ANAエアラインスクール) | 教育連携協定 | 8月31日(水) |
| 静岡県コンベンションアーツセンター(グランシップ) | 包括連携協定 | 10月6日(木) |
| 社会福祉法人静岡市社会福祉協議会 | 包括連携協定 | 12月9日(金) |



静岡市社会福祉協議会との協定締結式

学務課

「コンテンツ・マネジメント」部署、学務課

学務課は、在学生の誰もが一度は訪ねるであろう部署だと思います。しかし、具体的にどんなことをしている部署なのか、詳しく知っている学生さんはそこまで多くはないでしょう。実は、今年度より学務課に異動となった筆者も「こんなことまでしていたのか!」と毎日驚いております。というわけで、今回は「学務課はどんな仕事をしているのか」ということを少しでも

知って頂けたらと思います。

学務課の業務は、学生の日々の生活をサポートする「学生サービス系」と、授業の履修や成績の管理、カリキュラムの整備を行う「教務系」の二つに大まかに分類できます。学務課に入ってすぐのセクションが「学生サービス系」、窓側のセクションが「教務系」を担当しております。筆者の担当は「教務系」です。従いまして、今回は主に「教務系」のご紹介をして参ります。



「お気軽に何でも私に相談ください。」と筆者は語る。

新学務システムが始動！スマホからも履修登録が可能に！

具体的なお話から。今年度後期より、お手持ちのパソコンやスマートフォンでも履修登録ができるようになりました。これは学務システムが新しくなったから可能になったことです。ただ、新しい学務システムは実はもっと色々な便利機能があります。(気付いている方もいるかもしれませんが)

ご存知だとは思いますが、履修登録する際、各自に配付されているIDとパスワードで「ポータルサイト」にログインしております。実は、この「ポータルサイト」には、皆さんが登録した時間割、休講や補講情報、授業のお知らせ・・・など様々な情報が掲載されております。また、この「ポータルサイト」上ではスケジュール管理なども可能です。

これらの機能についてどのように周知し、また、どのように活用していこうかといったことを考えて実行に移すのが、まさに「教務系」の仕事なのです。(この点、まだまだ学生の皆さんに情報をお伝えできておらず、小生大変反省しております。この記事を読んでくださった学生さんは、ぜひ「ポータルサイト」にログインして、色々な機能を実際に確かめてみてください。そして口コミでその情報を広げていって頂けると心強いです。)

さて、学生の皆さんにとって大学とはどのような役割を果たすものなのでしょうか？

いきなりこのような質問を投げかけられると恐らく皆さんは戸惑ってしまうかもしれませんが、単純に考えてみてください。お分かりになりましたでしょうか？

大学は、授業を受けて単位を取得し、所定の単位要件を満たして学位を得るところです。学科によっては、学位に加えて様々な資格を取得するところでもあります。このように考えれば実に単純です。さてさて、こうして見ると「教務系」の仕事は、まさに大学の役割の根幹を支えるものではないでしょうか。筆者もこの文章を書きながら、「これは責任重大だ」と改めて認識しておりました。

結局、学務課の「教務系」の仕事というのは、「コンテンツ・マネジメント」ということに尽きるのではないかと思います。学生さんが授業をスムーズに履修できるようにシステムを導入したり制度を整備したりする。先生方が効果的に講義をできるよう様々な面でサポートし、大学としての教育内容がより良いものになるような制度を構築する。実際の教育を行うのは先生方なのであまり表には出てきませんが、裏方としてしっかりとサポートする。

果たしてこういったことがどこまで出来ているのかが日々反省しておりますが、少しでもよりよい「コンテンツ」=中身になるよう努力していきたいです。

(学務課 小林)

学生ポータルサイトの便利機能

大学の根幹を支える学務課が学生をサポート

平成29（2017）年度学納金の納付書発送及び納入期日について

| | 前 期 ※1 | 後 期 ※1 |
|---------|---------------------|---------------------|
| 納付書発送時期 | 平成29(2017)年4月上旬 | 平成29(2017)年9月上旬 |
| 納入期限 ※2 | 平成29(2017)年4月25日(火) | 平成29(2017)年10月2日(月) |



※1 学納金は、前期と後期の2期に分けて徴収します。

但し、新入生(1年生・3年次編入生)の前期分は、入学手続き時に徴収済みです。

※2 家庭の事情等により、期限内に学納金の納入が困難な場合は、分割・延納が可能(別途手数料あり)ですので、学務課(Tel:264-8873)までご相談ください。

キャリア支援課

エアライン業界への就職サポートを強化します！

本学は、ANA ビジネスソリューション株式会社との教育連携協定に基づき、12月20日(火) キャビンアテンダント (CA)、グランドスタッフ (GS) としてエアライン業界で働いてみたい！興味がある！学生を対象に「ANA エアラインスクール エアライン業界研究セミナー」を開催しました。

セミナーではエアラインの仕事内容や求められるスキルについて、ANA 現役のキャビンアテンダントスクール講師から教えていただきました。そして、本学学生が優待受講できる 2月名古屋開講「ANA エアラインスクール名古屋短期集中ベーシックコース」について、説明がありました。この

プログラムは、社会人基礎力や接客基礎力を身に付けることができ、共通科目講座 3日間 + 希望の講座 (CA or GS) 1日+ANA 中部空港での実務体験 2日間が予定されています。また、一定の成績を収めた修了者には ANA グループへの推薦がありますので採用選考に突破しやすくなります。

多くの学生が、この優待受講制度を利用してエアライン業界への道が開けるよう、来年度以降も、静岡英和学院大学・静岡英和学院大学短期大学部は、就職サポートを強化していきます。

(キャリア支援課 松本)



ANA エアラインスクール
名古屋 短期集中コース (4日間)
お申し込み受付中！

本学が企業様向けに、通常のベーシックコース4日間にプラスして開催いたします。さらに、おもてなしの実践としてANA中部空港での実務体験も受講していただけます。

【キャビンアテンダントコース】 2017年12月18日～19日
【グランドスタッフコース】 2017年12月18日～19日

2017年12月18日(月)～19日(火) 10時～17時

2016年12月23日にANAエアラインセミナー(参加無料イベント)を開催！詳しくはWEBサイトをご覧ください。

コースプログラムの案内
詳細はキャリア支援課まで
TEL 054-261-9204 (直通)

留学生センターだより

「平和へのかけ橋～富士山三保子によせて～」

日本舞踊公演に特別出演

11月3日(木)、静岡市のグランシップ 6階交流ホールで日本舞踊大河流寛叟会が開催した「平和へのかけ橋～富士山三保子によせて～」の日本舞踊公演に、本学の中国、韓国、ベトナム、ミャンマー、インドネシア、ネパールの6各国、計13名の留学生が「青い目の人形」と「駿府竹千代パワー」の2曲を披露し、観客を魅了しました。

「日本とアメリカの親善人形の交流の歴史の関連曲を踊り、日本文化の美しさを知ると共に、平和への思いを来場者に伝えることが

でき貴重な経験になった」と留学生たちは感想を語ってくれました。(留学生センター 鈴木)



留学生13名が
日本舞踊公演

平和への思い
観客を魅了

後援会だより

日頃より後援会理事の方々をはじめ、皆様には後援会の活動に御理解・御協力をいただきありがとうございます。

後援会の事業として、老朽化していたコンビニラウンジのテーブル及びチェアの交換を平成28年10月に実施しました。これまで丸型で低いテーブルだったため、カフェテーブルとしての機能しかありませんでしたが、今回は学習スペースとして

も利用できるよう、四角いテーブルにしました。また、チェアの色をカラフルにすることで明るいカフェの空間を壊さないよう配慮いたしました。これにより、学生様方の実用性と居心地を両立できれば幸いです。

(総務課 高橋 (後援会担当))



コンビニ前ラウンジの様子



静岡英和学院大学
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY

〒422-8545

静岡市駿河区池田1769

TEL 054-261-9201

FAX 054-263-4763



静岡英和学院大学短期大学部
SHIZUOKA EIWA GAKUIN UNIVERSITY JUNIOR COLLEGE

最新情報 <http://www.shizuoka-eiwa.ac.jp>

ご意見・ご感想 info@shizuoka-eiwa.ac.jp

企画・編集 学報委員会